時事新報定價

時事新報は每號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價郵送料は左の如し

一號 貳錢五厘○一箇月 前金五拾錢○三箇月 前金壹圓四拾五錢○六箇月 前金貳圓八拾五錢○一箇年 前金五圓六拾錢○月曜日休刊(此他大祭祝日年始年末等一切休刊せず)

時事新報遞送料

一	日本國內並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山津	一箇月 金拾三錢
二	南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國	一箇月 金六拾錢
三	北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋	一箇月 金三拾錢
四	香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲	一箇月 金六拾五錢
五	露領浦潮斯德、清國諸港	一箇月 金三拾五錢

時事新報廣告料(前金)

	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行五號活字廿四字詰	一行ニ付 十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を揭ぐるもの尠からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も尠からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報社に送りたる投書の原稿は凡て寄稿者に返戾せず又本社に保存せず

時事新報

教育家の擧動に就て

現任大臣就職の後、文部の施政を見るに別に著るしき變化はなけれども近來世間にて喋々する官立學校の官制改正を始めとして高等小學と私立學校との聯絡の如き修身書選定の標準の如き又小學校の式日に關する注意の如き從來の方針を少しく色を異にしたるものあるに似たり素より些々たる細事件にして未だ當局者の本領を窺ひ知るに足らずと雖も從來文部の施設は一として不評判ならざるものなきに拘はらず今度の處置に就ては世間に反對の說少なきのみか寧ろ同情を表して或は當局者の意氣込み少しく急なるを見て懇切にも其前途を氣遣ふものさへもある折柄、豈に圖らんや教育社會に一種の反對論を生じ然かも其主唱者たるものは先頃まで文部に職を奉じ樞要の地位を占めたる人にして之に附和する者は官吏の輩も少なからず教育研究の目的を以て組織したる某會某社を機關と爲し全國の教育者に氣脈を通じて大に當局者に反對するの運動なりとか云へり近來の奇相にして世人の驚く所なる可し或は其反對者の專ら主張する所を聞くに今度の改正は官立學校の[illegible]を輕くし[illegible]を[illegible]めたるものにして教育を重んずるの趣旨に非ず且現任大臣は曾て小學校の補助費を[illegible]するの議に賛成を表したるにも拘はらず[illegible]の[illegible]れば意見を變じたるが如し教育の事に不熱心なりと云ふに過ぎず其說の當否は兎も角もとして苟も教育の社會に身を投じ平生の見聞も自から其事に關し教育を以て最大最重の事業と心得る輩に於ては當局者の施設を以て恰も教育を輕んずるものと爲し一意これに反對するも敢て怪しむに足らざれども其輩の如き久しく文部の部內に在りて相應の地位を占め曾て世間の攻擊を被りて反對の缺點に當り從度その中の辛酸を味ふたるのみならず今の當局者とは同じく明治政府に仕へて自から同僚同穴の情誼もあるべきことなれば若しも其人に對して言ふ可きことあらば自から手段もある可きに然るに事、爰に出でずして公然反對の運動を試み恰も今の民黨が政府に對するの所爲を學ぶは甚だ穩かならぬ擧動なりとて其說は兎も角もとして擧動に就て疑を抱く者も少なからず或は裡面の內情にまでも立入りて云々の關係あり斯く〳〵の事情ありとて之を怪しむものさへなきに非ざれども我輩の所見を以てすれば此事たる疑ふに足らず又怪しむに足らず政府の官吏が何かの事情にて職を去るときは忽ち反對の情を現はすこと明治社會の常態にして其事例も乏しからず獨り文部の舊官吏のみ然るに非ず今回の事は特に或る部分の局所に發したるを以て過まで世間の怪訝を招きたるに過ぎざるのみ抑も今の官吏は何れも封建士族の遺流にして忠君愛國、國家の爲めに一身を捧ぐるの精神は遺傳教育の然らしむる所、今日に至るまでも[illegible]の精神として發するとなし[illegible]の順に至るまでも依然として[illegible]小官の卑しきに居ながら自から國家の重きに任じ孜々勉強して職と共に倒れんと留ひたるものが一旦何かの都合に由りて非免の沙汰に遇ふときは平生正直の心よりして自から他の無情を憤るの情なきを得ず殊に家計の事に無頓着なるは士族流の常にして宦途に在りて俸給の豐なる日に於てさへ何ほど時としては債鬼門を窺ふの厄を免れざるに突然支給の道を絶たるゝときは忽ち眼前の生活に迷ふことなれども正直一偏の外に他の藝能とてはなき其上に氣位のみは頗る高くして容易に人に屈せざるが故にます〳〵身を處するの路に窮してます〳〵不平に堪へずされはとて尋常一樣の人事に當らんとすれば本來無藝無能にして唯その身に適するは宦途の一方あるのみ是に於てか滿腹の不平は發して政府に向はざるを得ず誠に窮窟なる次第なり從來世間に政府反對の思想少なからざれども喋々然たる民權云々の空論なりしに近來その論に供するに種々の材料を以てして空論をして實論に近からしめ以て政府の弱點を衝て當局者に苦痛を感ぜしむるに至りしものは免職官吏輩の運動與りて大に力なきに非ず世に明白なる事實にして今回教育社會の擧動の如き畢竟その一例たるに過ぎず今更ら怪しむに足らざるのみか寧ろ尋常一樣の事相にみそあれば我輩は特に其人に就て云々するを欲せざるものなり就て思ふに政府にては今回行政整理の爲め大改革を行ふよし官吏の非免沙汰も必ず多きことならん亦是れ一種を加ふるものにして今後の事思ひ知る可し自から止むを得ざる次第にはあれども社會の治安の爲めには甚だ妙ならず其始末に就ては經世家の一考を要する所なる可し

官報

○勅令

朕製絲所官制ノ廢止ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十六年十月一日

內閣總理大臣伯爵伊藤博文
農商務大臣伯爵後藤象二郎

勅令第百六號

明治二十三年勅令第百十六號製絲所官制ヲ廢止ス

雜報

○市會議員撰擧の結果 日本橋區一級市會議員撰擧を此程同區役所に於て執行したる結果は左の如し

十一點 當撰 橫山富次郎
八點 次點 倉田七郎

○大日本水産會幹事改撰 同會幹事笑作、関澤の兩氏は本年滿期となりたるに付近日改撰を行ふ由なるが其候補者は學藝委員松原新之助氏外一名なりと

○堂島米商會所組長の撰擧 大坂堂島米商會所の仲買人八十九名(內新加入十八名あり)は已に新取引所の仲買人たるの許可を得たるに付去る二十九日舊取引所仲買組長の撰擧會を開きたるに北野平兵衛、古門九衛門、二川虎之助、谷澤治兵衛、桑木吉太郎、伊藤久兵衛、進藤嘉一郎、薫木英一、和久伊兵衛、田内平五郎の十氏當撰し更に此中より仲裁委員を撰擧したるに北野平兵衛、進藤嘉一郎、薫木英一、古門九衛門の四氏當撰したるも古門氏辭退せしに付次點の田中丑三氏を推撰したりと又此際に、手帳、口錢控引帳、會錢出入帳の改正及び同米商會所名稱變更より生ずる帳簿等の改正を議定したるよし

○醫術開業試驗志願者 來る十一日を以て執行する醫術開業試驗志願者は二千六百五十五人にして內前期千五百十四人後期千三十三人歯科百八人にして尚ほ京都、長崎等を合すれば總員四千六百七十七人なりと云ふ

○大坂水道鐵管の入札 前號の電報欄內に記載したる如く一時紛紜を極めたる大坂水道鐵管請負不足額五千三百十五噸六十二呎の再入札は本前請負せし橫濱のマデソン商會を除き來る二十三日大坂府廳に於て入札を行ふ事に決したるよしなるが今回の入札者は二十二人の豫定なるも暫らく其人名は祕し置くよし而して目下同市參事會より大坂砲兵工廠に照會中の不足額四五千噸の追入札の如何は同工廠の回答を得て更に決定する筈なりと云へり

○福島中佐と隨行社員 在京の隨行社員六百餘名は一昨夕より九段坂上の同社に集會して福島中佐の爲め特に慰勞の宴を開きたり是れ中佐が騎馬旅行の間童を擧りて遠く歸京せしを機として一夕の歡を盡さんとしたる丈けにして騎中佐より改まりたる挨拶等もなく唯談笑の間に歡を盡し主客歡を盡して散會を告げたるなりしといふ

○東京札幌間の旅行三日 兼て記したる如く青森室蘭間に於ける定期航海は郵船會社にて去る一昨一日より開始したるが右定期航の爲めに東京札幌間旅行の時日も從前に比して非常の減縮を見るに至り最も急行を要するとせば七十二時間四十五分即ち三日と四十五分にして東京より札幌に到達するを得るよし尤も汽車の運行と汽船の運行との時間のみは相合して僅に四十二時間餘に過ぎざれども連絡の爲めに碇泊すべき時間と船舶の回數もあり乘に室蘭札幌間には夜行汽車の無きが爲め室蘭に一泊を要する等の事あるより旁々前記の如く七十二時間餘を要するものなりと云ふ今試みに其發行に係る汽車汽船の發着時刻を揭ぐれば左の如し

汽車	第一日	午後二時
汽船	第二日	午後四時
汽車	第二日	午後十時
	第三日	午後六時
	第四日	午前八時
	同日	午後三時

○大坂石油株式會社 …衛、宮澤儀太郎の二氏外…式會社は今度資本金…人五名にて負擔し三分を…る三十日大坂府廳を經て…營業の目的は新潟縣下三…を汲取り大坂の製油所に…なれば先づ最初に三萬圓…總集運動資本に充つる筈…

○大坂の在米高 大坂…十日調查せし同市中の在…外國米九千六百八石にし…地米は二萬三千六百八十…石を減じたるよし尚本年…に着荷せしものは加賀米…の地方よりは未着のよし…

○馬車鐵道收入旬報 …る九月二十一日より同月…報は左の如し

一二十三萬千七百四十七人
一金四千九百五圓七十八錢…
一六十八萬六千九百四十二人…
一金一萬四千三百九十九圓…
一日平均 金四百七十九…

○白米標準相場の… …建れて三等以下の白米標…

一等白米 九升一…
二等白米 九升三…
三等白米 …

○奥山閣花園の造り… …は例に依り…

油 東京 乗… 陸軍大…故左近…
元和…
之を見れば一大…
の活傳記
發行所